

ステークホルダーとの対話を大切にしながら 幸せづくりに貢献します

モスグループは、経営理念に「人間貢献・社会貢献」を掲げるとともに、お客さまや加盟店のオーナー、株主、メンバー、取引先、地域社会などステークホルダーの皆さまと「価値の共有」を目指しています。

ステークホルダーとの約束



ステークホルダーのおもな対話



モスバーガー
キャンパスミーティング P21



モスバーガー
キャストミーティング P26



ランチミーティング P26



株主様向けIR説明会 P29



環境とともに

その他の活動をご覧になりたい方はWebサイトをご覧ください。



省エネルギーの推進や廃棄物の適正な処理などの環境活動に取り組むとともに、モスグループのメンバーへの環境教育を実践し、持続可能な循環型社会の実現に向けて行動し続けています。

モスグループ 環境方針

● 基本理念 ●

私たちは「食を通じて人を幸せにすること」という経営ビジョンのもと、「おいしさ」「安全」「安心」「健康」という考えを経営の中心に据え、「人間貢献・社会貢献」のため、環境保全活動に積極的に取り組み、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて、行動してまいります。

● 環境行動指針 ●

私たちは、フードサービス事業の推進において、事業活動がもつ環境影響を認識して、以下の環境行動指針を定め活動します。

1. 私たちは、事業活動に関連する法規制および受け入れを決めたその他要求事項等を守り、汚染の予防を図ります。
2. 私たちは、持続可能な社会を次の世代に残すため、事業活動全体において地球温暖化抑止策に以下のとおり取り組みます。
 - i. 省エネルギーと資源の有効利用活動「3R-リデュース(削減)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)」を推進します。
 - ii. 環境に配慮したお店づくり、商品づくり、および物流体制を推進します。
 - iii. 使用する備品や資材などのグリーン購入を積極的に推進します。
3. 私たちは、モスグループで働く全員と事業活動を支える人々の環境に関する意識向上のために、環境教育・訓練および啓発活動を進めます。
4. 私たちは、社会の役に立つ存在であり続けるため、地域社会と連携し、環境保全と啓発に努めます。
5. 私たちは、毎年度、環境目的および目標を設定し、見直しを行い、環境負荷低減に努めます。
6. 私たちは、環境方針ならびに環境マネジメントシステムの継続的改善の進捗状況を公開し、積極的に外部とのコミュニケーションをおこないます。

モスグループ 中期環境行動計画(2016年度～2018年度)

中期環境行動計画	2016年度の実績
グループ全体の環境マネジメントシステムの充実	
1. 環境マネジメントシステム全体を再点検し、業務改善を図ります。	● CSRの諸課題の範囲や影響度の拡大について検討。
2. 本部機能を最大限に活用し、チェーン全体の環境影響改善に努めます。	● より本来業務に即した活動を推進するため、本部部門は「グループ単位」で活動を実施。
環境目標数値	
1. エネルギー使用量 毎年前年比1%削減(売上100万円あたり)	● エネルギー使用量 前年比99.3%(売上100万円あたり) P20
2. 食品リサイクル 再生利用等実施率48.5%	● 食品リサイクル 再生利用等実施率49.9% P20



環境への理解促進のために

ecoモス通信(環境教育)

店舗メンバー向け環境教育ツール「ecoモス通信」を2003年から発行しています。2016年度は計7回発行し、「フロン排出抑制法」「省エネ」「COOL CHOICE」「グリストラップ清掃」「廃棄物」など、店舗に関わる環境情報を取り上げました。また、Q&Aコーナーを新設し、それぞれのテーマに対して復習ができる仕組みにしました。さらに、本部メンバー向けにはeラーニングによる環境教育テストを実施。「モスのコミュニケーションレポート」の内容やオフィスの環境活動について学びながら理解を深めています。



ecoモス通信

循環型社会の実現のために

BRING PLA-PLUSプロジェクト

環境省の実証事業「BRING PLA-PLUS(ブリング プラプラ)プロジェクト」に、2014年度から参加しています。家庭から出る容器包装以外の製品プラスチックを回収・再生する事業で、モスの店舗が回収拠点となり、お客さまに対象品(おもちゃ、文房具、日用品など)をお持ちいただき新たなプラスチック製品の原料に活用していく試みです。

モスでは年々参加店舗を増やしており、2016年度は東京・茨城・静岡の計47店舗と本家で回収に協力しました。



プロジェクト告知ポスター

省エネルギーの取り組み

お客さまにとっての心地良さを企業活動を考慮しながら、エネルギーの効率的な使用に努めています。エネルギー使用量の把握と検証、設備機器類の適正な維持管理を通じ、チェーン全体の省エネルギー化を図っています。

電気・ガス等使用量、CO₂排出量、熱量換算、原油換算

項目	単位	2015年度				2016年度			
		全店舗		本社・事務所・関連施設		全店舗		本社・事務所・関連施設	
		使用量	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)						
電気使用量	千kWh	137,055	76,193	750	381	134,866	72,407	725	364
都市ガス使用量	千m ³	2,371	5,288	2	4	2,324	5,184	2	5
LPガス使用量	千m ³	2,127	12,712	1	4	2,066	12,347	0	3
A重油	kℓ	—	—	83	226	—	—	85	229
冷水・温水	GJ	—	—	1,549	88	—	—	1,652	94
CO ₂ 排出量合計	t-CO ₂	94,192 (2014年度比:96.0%)	—	704 (2014年度比:98.4%)	—	89,938 (2015年度比:95.5%)	—	694 (2015年度比:98.7%)	—
熱量換算合計	GJ	1,687,926	—	12,991	—	1,657,825	—	12,921	—
原油換算	合計	43,549 (2014年度比:98.4%)	—	335 (2014年度比:100.6%)	—	42,772 (2015年度比:98.2%)	—	332 (2015年度比:99.1%)	—
	原単位*1	0.410 (2014年度比:92.6%)	—	0.045 (2014年度比:100.0%)	—	0.407 (2015年度比:99.3%)	—	0.046 (2015年度比:102.2%)	—

換算係数

- 電力
電力は、電気事業者別に公表された2014年度及び2015年度の実排出係数をそれぞれ2015年度及び2016年度に適用。
単位発熱量 9.97MJ/kWh
- 都市ガス
排出係数 2.23kg-CO₂/m³
単位発熱量 44.8MJ/m³
- LPガス
排出係数 3.00kg-CO₂/kg
単位発熱量 50.8MJ/kg
(LPガスは0.502千m³を1tで重量換算)
- A重油
排出係数 2.71kg-CO₂/ℓ
単位発熱量 39.1MJ/ℓ
- 冷水・温水
排出係数 0.057kg-CO₂/MJ
単位発熱量 1.36MJ/MJ
- 原油換算
0.0258kℓ/GJ

*1 全店舗の原単位は、「売上100万円あたり」、本社などは、「延床面積(m²)あたり」。

*2 電力以外のその他のエネルギーは、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.4.2)」(環境省・経済産業省)記載の係数を適用しています。

廃棄物の発生抑制とリサイクル

創業当初から、ご注文いただいたから商品をつくる「アフターオーダー方式」の採用やリユース食器の活用など、ゴミの出にくい店舗運営を実施しています。また、店舗から排出される廃食油などのリサイクルを進めている他、「セカンドハーベスト・ジャパン」*によるフードバンク活動への食材の寄贈により、食品を無駄にせず、廃棄物の発生抑制にも努めています。

* 日本で初めて2002年に法人化されたフードバンク。安全性が保証された食料を、生活困窮者に供給する活動を展開している。

モスバーガーチェーン全店舗の食品廃棄物発生量等と再生利用等実施率

	2014年度	2015年度	2016年度
売上(100万円) …… a	100,265	106,427	105,194
発生量(t) …… b	7,016	6,870	6,634
再生利用量(t) …… c	2,655	2,538	2,424
熱回収量(t) …… d	0	0	0
減量量 …… e	0	0	0
再生利用以外の量	0	0	0
廃棄物としての処分量	4,362	4,332	4,210
発生原単位 g=b÷a(発生量:kg/売上100万円あたり)	69.98	64.55	63.06
発生抑制量(t)f=(基準発生原単位*g)×a	986	1,624	1,762
再生利用等実施率(パーセント)(c+d×0.95+e+f)÷(b+f)	45.5	49.0	49.9

* 基準発生原単位:2007年度 79.81

2016年度の内訳

	発生量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)
野菜くずなど	2,776	151	5.4
廃食油	3,833	2,248	58.6
倉庫廃棄物	25	25	100
合計	6,634	2,424	—
フードバンクへの寄贈量(t)	—	34.7	—

生物多様性への取り組み

環境NPO「オフィス町内会」の活動を支援し、さまざまな印刷物に森の町内会の「間伐に寄与する紙」を使用することにより、間伐材の有効利用を促進して健全な森林づくりに貢献しています。

森の町内会「間伐に寄与する紙」の使用量

	2014年度	2015年度	2016年度
使用量(t)	20.8	16.3	16.3
間伐促進換算面積*(ha)	1.2	1.0	1.1

* 間伐促進面積は、森の町内会活動の実績値をもとに算出

Close Up

全国の店舗に広がるグリーンカーテンの輪

夏の省エネと癒やしの空間づくりに役立つグリーンカーテン。2013年度からモスの店舗に「緑のカーテン」を設置し、その出来栄や効果を競い合う「グリーンカーテンコンテスト」を開催しています。2016年度は全国から84店舗が参加し、その中で春日井出川店が「最優秀賞」を受賞。他の参加店舗でも、見た目が涼しいだけでなく、窓側席・テラス席の体感温度を低下させたり、お客さまとのコミュニケーションを促進したりと、さまざまな効果が出ています。



Voice 受賞店舗のオーナーから

緑のカーテンがお客さまとの交流を促進

カーテンが大きく成長するにつれ、窓際やテラス席が涼しくなり、ご利用になるお客さまも増えていきました。今回、グリーンカーテンをうまく育てられた秘策は、霧状のシャワーを活用したことにあります。緑を通してお客さまとの交流が増え、私たちも幸せな時間を過ごせました。また、挑戦します!

春日井出川店(愛知県) 谷口 美幸オーナー



受賞店舗一覧

賞	受賞店舗	
最優秀賞	中京支部	春日井出川店
優秀賞	新潟支部	新潟大学前店
	中京支部	守山中央店
チャレンジ賞	甲信支部	甲府高畑店
	九州北支部	諫早久山台店
省エネ賞	北陸支部	松任店
	静岡支部	富士急沼津店
エリア特別賞	東北支部	秋田広面店
	埼玉支部	ふじみ野店
	東京支部	多摩下柚木店
	静岡支部	水守店
	北陸支部	富山掛尾店
	関西西南支部	岸和田インター店
	中・四国支部	祇園店
	九州北支部	中津如水店